

中学校の制服について



秋山 幸子 議員

一般質問



滝田 一郎 議員

非接触式検温カメラ等の導入について

質問…近年、女子がスカートかズボンを選択できる学校が増え、

社会的にも文化的にもジェンダーギャップを無くそうという動きが広がっています。ジェンダーレス化に対する市の考えを伺います。

答弁…各学校においては、豊かな人間性や自尊感情を育むとともに、差別のない望ましい人間関係を確立する事に努めています。

す。昨今取り上げられている性的少数者や性同一障害者等に関しても、他者を尊重し、正義感や公正さを重んずる気持ちを育むことが最も重要であると考える

ており、今後とも学校の様々な場面において児童生徒の人権意識を高めてまいります。

質問…女子がズボンを選択できる制服を導入する考えがあるか伺います。

質問…市有施設の来庁者数の動向について伺います。

答弁…令和元年度の月平均利用者として新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年3月から10月の月平均利用者を比較しますと、トコトコ大田原子ども未来館では、令和元年度の月平均利用者1万4064人に対して3209人、市民交流センターでは4159人に対して7

18人、総合文化会館では2884人に対して869人と利用者数は減少しています。

質問…庁舎及び市有施設の体温測定サーマルカメラ等の導入状況及び今後の計画について伺います。

答弁…現在、庁舎及び市有施設で非接触式検温カメラを導入しているのは、紫塚小学校に顔認証式検温システム1台、湯津上小学校、

答弁…中学校の制服は、各学校の判断の下、選定することになっていきます。現在、市内の中学校の中には、女子生徒のズボンの着用を認めている学校もあります。また、保護者や生徒から、要望があれば着用を認める方針の学校もあるなど、学校の実態に応じて柔軟に対応してまいります。

須賀川小学校、金田南中学校北金丸分校、湯津上児童保育館の4施設に表面温度測定サーマルカメラが各1台設置されており、合計で5台です。そのほか89の公共施設においては、非接触式検温計を配備しています。今後の計画は、感染の第3波が広がりつつあることから、市内や近隣の感染状況、国の三次補正等を見極めながら必要に応じて設置を検討します。